

令和6年度子どもゆめ基金助成事業

「病院や児童福祉施設の子どもが主体的に創造し ワクワクする QOL 向上あそび体験交流」

報告書

病気で長期入院している子どもや、障がいがあり放課後等デイサービスなどの児童福祉施設に通う子どもが、地域から発掘したあそびの指導者と創造性豊かなアートを通して夢中にあそび、仲間と一緒にワクワクと楽しい時間を過ごすあそびと交流の体験で、笑顔になり希望や生きる力につながる情緒的なQOL向上をはかる事を目的としています。



主催：特定非営利活動法人子ども劇場千葉県センター

〒260-0031 千葉市中央区新千葉 2-17-6 サンコート新千葉 102 号

TEL：043-301-7262 FAX：043-301-7263

Email:kidchiba@lily.ocn.ne.jp URL <https://chiba.gekijou.org/>

後援：千葉県 千葉市 千葉県教育委員会 千葉県医師会 千葉県小児科医会

ワーク実施一覧

	施設名	実施日時 実施場所	プログラム 指導者	指導者	協力者	子ども	大人 +ボラ	参加 総数	参加人数内訳
1	国立病院 機構 下志津 病院	7月23日(火) 12:30~14:30 療育訓練室	「カラフル工作つくって あそぼう!」 加川きみこ 塩沢千秋 北野美子 椎名好子	4	1	10	4	14	子ども10(小学生8 中学生2) 大人4(保育士2 医師1 看護師1)
2	国立病院 機構 千葉東 病院	7月30日(火) 14:00~16:00 3病棟プレイルーム	「つくってみよう♪カラフルクラフト」 和田直子 岡田直子 大山菜穂子 鈴木美和子	4	1	7	5	12	子ども7(小学生5 中学生1 高校生1) 大人5(看護師長1 保育士2 職員1 ボランティア1)
3	放課後等 デイサー ビス わくわく bloom	8月1日(木) 13:00~15:00 活動室	「やってみよう♪わくわく 工作タイム」 和田直子 河原裕美 篠藤晶子 鈴木美和子	4	2	19	6	25	子ども19(小学生18 中学1) 大人6(職員1 児童指導員3 作業療法士2)
4	千葉県千 葉リハビリ テーショ ンセンタ ー	8月21日(水) 10:30~ 14:10 大ホール	「たのしくインテットと わくわくサマーコンサート」 石井真理子 鈴木佳子 椎名好子 宇野京子	4	2	42	37	79	子ども42(幼児 小学生 中学生以上) 大人37人(保護者7 保育士3 病院スタッフ21 医師3 ボランティア3)
5	(社福)翠 燿会 放 課後等デ イサービ グリーンヒ ルキッズ	8月23日(金) 13:00~15:00 ゆりのき台教室	「色紙ねんどで作ってみ よう 世界でひとつだけ の・・・」 ヨシミツ 鈴木佳子 柳田裕子 渡辺美佐緒	4	2	18	9	27	子ども18(小学生15 中学生3) 大人9(管理書2 指導員7)
6	(社福)大 成会放課 後等デイ サービス 本城 ルーム	8月27日(火) 13:30~15:30 活動室	「第1部ねえ、聞いて!夏 のおはなし。第2部作っ て遊ぼう キラキラ工作」 飯野真子 広瀬節子 松本祐子 清水裕美子	4	3	13	4	17	子ども13(小学生13) 大人4人(課長1 指導員3)
7	千葉大学 医学部附 属病院	11月6日(水) 11:00~14:30 クリーンルーム プレイルーム	「チャレンジカラフルクラ フト」 大塚るい 岡田直子 河原裕美 篠藤晶子	4	1	13	11	24	子ども13人(幼児7 小 学生3 中高生3) 大人11人(保護者10 保 育士1)
8	放課後等 デイサー ビス・ ハクナ マタタ	11月6日(水) 15:00~17:00 活動室	「革でクリスマスオーナメ ントをつくろう!」 斯波優江 楠千枝子 北川妙子 井澤智子	4	4	12	11	23	子ども12(中学5 高校7) 大人11人(職員6 ゆめ基 金4 ボランティア1)
9	国立国際 医療研究 センター 国府台 病院	11月20日(水) 10:10~12:10 院内学級	「わくわく工作!オンリーワ ンを作ろう!」 濱美幸 波多陽子 加藤香都代 井澤智子	4	4	28	12	40	子ども28(小学生8 中 学生20) 大人(教員8 医師1 ボラ ンティア3)
10	放課後等 デイサー ビス アフ タースク ールセン ター むぎ畑	1月13日(月 祝) 13:00~15:00 活動室	「やってみよう!わくわく工 作タイム」 河原裕美 岡田直子 鈴木美和子 宇野京子	4	2	10	5	15	子ども10人(小学生5 人・中学生3人・高校生2 人) 大人5人(施設職員)
				40	22	172	104	276	

「病院や児童福祉施設の子どもが主体的に創造し、ワクワクするQOL向上および体験交流」事業

カラフル工作 作ってあそぼう!

日時: 2024年7月23日(火) 12:30~14:30
 場所: 下志津病院療育訓練室 (千葉県市川市市川934-5)
 内容: レインボーしゃぼんだま・プレスレッド・折り紙花火
 指導者: 加藤みづ子・北野美子・尾形好子・塩沢千穂
 (NPO法人西海道こどもネットワーク協議会)
 募集人数: 12名
 ※お申込み15名まで参加できます。参加費は無料です。

レインボーしゃぼんだま
 プレスレッド
 折り紙花火

子どもたちに、ワクワクした楽しい思い出のワークショップをお届けします。また、スタッフのみなさんにも一緒に楽しんでもらいます。楽しいコミュニケーションがもとめとする環境を盛り込んでまいります。

主催: 問い合わせ・申し込み先: 特定非営利活動法人子ども劇場千葉センター
 〒260-0031 千葉県市川区千歳2-17-6 エアックビル102号 4F FAX: 043-301-7262
 TEL: 043-301-7262 FAX: 043-301-7263 E-mail: kids@chiba-sekihou.or.jp
 URL: https://chiba.sekihou.or.jp/

後援: 千葉県 千葉市 千葉県教育委員会 千葉県医師会 千葉県小児科医会

「病院や児童福祉施設の子どもが主体的に創造し、ワクワクするQOL向上および体験交流」事業

つくってみよう!カラフルクラフト

ビーストクラブ
 エコクラフトの
 小物入れ
 くまのしんぼろテープ

子どもたちに、ワクワクした楽しい思い出のワークショップをお届けします。また、スタッフのみなさんにも一緒に楽しんでもらいます。楽しいコミュニケーションがもとめとする環境を盛り込んでまいります。

【対象年齢】
 幼児~高校生
 【募集人数】11名
 【参加費】無料

【日時】2024年7月30日(火)14:00~16:00
 【会場】国立病院機構 千葉東病院 3病棟 (プレイルーム)
 千葉県中央区戸名町673番地

【指導者】和田直子 岡田直子 大山菜穂子 鈴木美和子

主催(問い合わせ・申し込み先): 特定非営利活動法人子ども劇場千葉センター
 〒260-0031 千葉県市川区千歳2-17-6 エアックビル102号 4F FAX: 043-301-7262
 TEL: 043-301-7262 FAX: 043-301-7263 E-mail: kids@chiba.sekihou.or.jp
 URL: https://chiba.sekihou.or.jp/

後援: 千葉県 千葉市 千葉県教育委員会 千葉県医師会 千葉県小児科医会

「病院や児童福祉施設の子どもが主体的に創造し、ワクワクするQOL向上および体験交流」事業

やってみよう!わくわく工作タイム

ビーストクラブ
 エコクラフトの
 小物入れ
 ペーパークラフト
 (紙を厚紙を使って)

子どもたちに、ワクワクした楽しい思い出のワークショップをお届けします。また、スタッフのみなさんにも一緒に楽しんでもらいます。楽しいコミュニケーションがもとめとする環境を盛り込んでまいります。

【対象年齢】 小学校1年生~高校生
 【募集人数】16名 【参加費】無料

【日時】2024年8月1日(木) 13:00~15:00
 【会場】わくわく広場 (放課後等デイサービス)
 【住所】千葉県若葉区千城台五丁目37-8-101
 【指導者】和田直子 河原裕美 種藤晶子 鈴木美和子

主催(問い合わせ・申し込み先): 特定非営利活動法人子ども劇場千葉センター
 〒260-0031 千葉県市川区千歳2-17-6 エアックビル102号 4F FAX: 043-301-7262
 TEL: 043-301-7262 FAX: 043-301-7263 E-mail: kids@chiba.sekihou.or.jp
 URL: https://chiba.sekihou.or.jp/

後援: 千葉県 千葉市 千葉県教育委員会 千葉県医師会 千葉県小児科医会

「病院や児童福祉施設の子どもが主体的に創造し、ワクワクするQOL向上および体験交流」事業

第1部 ねえ、聞いて! 夏のおはなし

第2部 作って遊ぼう キラキラ工作

日時: 8月27日(火) 13:30~15:30
 場所: 社会福祉志人大公会 本城1-11-15(南田市本城142-4)
 参加費: 無料
 対象: 小学生~高校生
 人数: 10名
 指導者: 加藤みづ子・清水彩美子・藤原裕子・松本花子

主催: 問い合わせ・申し込み先: 特定非営利活動法人子ども劇場千葉センター
 〒260-0031 千葉県市川区千歳2-17-6 エアックビル102号 4F FAX: 043-301-7262
 TEL: 043-301-7262 FAX: 043-301-7263 E-mail: kids@chiba.sekihou.or.jp
 URL: https://chiba.sekihou.or.jp/

後援: 千葉県 千葉市 千葉県教育委員会 千葉県医師会 千葉県小児科医会

「病院や児童福祉施設の子どもが主体的に創造し、ワクワクするQOL向上および体験交流」事業

たのしきインテットとわくわくサマーコンサート

2024年8月21日(水) 10:30~14:10
 千葉リハビリテーションセンター 大ホール

指導者: 石井真理子 鈴木佳子 椎名裕子 宇野敦子
 演奏者: たのしきインテット

参加費無料 対象: 0歳~高校生 募集人数: 80人

たのしきインテット
 わくわくサマーコンサート

主催(問い合わせ・申し込み先): 特定非営利活動法人子ども劇場千葉センター
 〒260-0031 千葉県市川区千歳2-17-6 エアックビル102号 4F FAX: 043-301-7262
 TEL: 043-301-7262 FAX: 043-301-7263 E-mail: kids@chiba.sekihou.or.jp
 URL: https://chiba.sekihou.or.jp/

後援: 千葉県 千葉市 千葉県教育委員会 千葉県医師会 千葉県小児科医会

「病院や児童福祉施設の子どもが主体的に創造し、ワクワクするQOL向上および体験交流」事業

色紙わんどで作ってみよう

世界でひとつだけの...

2024/8/23(土) 13:00~15:00

会場: 放課後等デイサービスグリーンヒルキッズゆりの台
 〒276-0042 八千代市ゆりの台3-3-54H(ゆりの台)2F-101
 対象: 小学1年生~中学生
 募集人数: 20名(定員に達し次第締め切り)
 指導者: ヨシモツ (CLAY BY YESMAN)
 鈴木佳子・柳田裕子・道辺美佳穂
 メールまたはお電話で申し込み

主催(問い合わせ・申し込み先): 特定非営利活動法人子ども劇場千葉センター
 〒260-0031 千葉県市川区千歳2-17-6 エアックビル102号 4F FAX: 043-301-7262
 TEL: 043-301-7262 FAX: 043-301-7263 E-mail: kids@chiba.sekihou.or.jp
 URL: https://chiba.sekihou.or.jp/

後援: 千葉県 千葉市 千葉県教育委員会 千葉県医師会 千葉県小児科医会

「病院や児童福祉施設の子どもが主体的に創造し、ワクワクするQOL向上および体験交流」事業

チャレンジ!カラフルクラフト

天然石を使った
 ペーパークラフト
 エコクラフトの
 小物入れ
 くまのしんぼろテープ

子どもたちに、ワクワクした楽しい思い出のワークショップをお届けします。また、スタッフのみなさんにも一緒に楽しんでもらいます。楽しいコミュニケーションがもとめとする環境を盛り込んでまいります。

【対象年齢】
 小学生1年生~高校生
 【募集人数】12名
 【参加費】無料

【日時】2024年11月6日(水) 11:00~14:30(休館中)
 【会場】千葉大医学部附属病院 みなみ3階プレイルーム
 住所: 千葉県中央区美玉1-8-1
 【指導者】大塚真一 大山菜穂子 河原裕美 種藤晶子

主催(問い合わせ・申し込み先): 特定非営利活動法人子ども劇場千葉センター
 〒260-0031 千葉県市川区千歳2-17-6 エアックビル102号 4F FAX: 043-301-7262
 TEL: 043-301-7262 FAX: 043-301-7263 E-mail: kids@chiba.sekihou.or.jp
 URL: https://chiba.sekihou.or.jp/

後援: 千葉県 千葉市 千葉県教育委員会 千葉県医師会 千葉県小児科医会

「病院や児童福祉施設の子どもが主体的に創造し、ワクワクするQOL向上および体験交流」事業

MERRY CHRISTMAS

家でクリスマスオーナメント

をつくろう!

2024年11月6日(水曜日)15:00~17:00
 対象年齢: 小学生・中学生 募集: 12人
 参加費無料
 場所: 放課後等デイサービス
 ハクナマタ (市川市国分7丁目12-5)

子どもたちに、ワクワクした楽しい思い出のワークショップをお届けします。また、スタッフのみなさんにも一緒に楽しんでもらいます。楽しいコミュニケーションがもとめとする環境を盛り込んでまいります。

【対象年齢】
 小学生1年生~高校生
 【募集人数】12名
 【参加費】無料

主催(問い合わせ・申し込み先): 特定非営利活動法人子ども劇場千葉センター
 〒260-0031 千葉県市川区千歳2-17-6 エアックビル102号 4F FAX: 043-301-7262
 TEL: 043-301-7262 FAX: 043-301-7263 E-mail: kids@chiba.sekihou.or.jp
 URL: https://chiba.sekihou.or.jp/

後援: 千葉県 千葉市 千葉県教育委員会 千葉県医師会 千葉県小児科医会

「病院や児童福祉施設の子どもが主体的に創造し、ワクワクするQOL向上および体験交流」事業

わくわく工作! オニリーフを作ろう!

2024年11月20日(水曜日)10:10-12:10
 対象年齢: 小学生・中学生 募集: 42人
 参加費無料
 場所: 国府台病院 院内学級運動場 (市川市国分1-7-5)

指導者: 深沢中 加藤道徳氏・遠藤博子氏・井澤智子氏
 (NPO法人西海道こどもネットワーク協議会)

主催(問い合わせ・申し込み先): 特定非営利活動法人子ども劇場千葉センター
 〒260-0031 千葉県市川区千歳2-17-6 エアックビル102号 4F FAX: 043-301-7262
 TEL: 043-301-7262 FAX: 043-301-7263 E-mail: kids@chiba.sekihou.or.jp
 URL: https://chiba.sekihou.or.jp/

後援: 千葉県 千葉市 千葉県教育委員会 千葉県医師会 千葉県小児科医会

「病院や児童福祉施設の子どもが主体的に創造し、ワクワクするQOL向上および体験交流」事業

やってみよう!わくわく工作タイム

ペーパークラフト
 (紙を厚紙を使って)
 エコクラフトの
 小物入れ
 アイロンビーズ

子どもたちに、ワクワクした楽しい思い出のワークショップをお届けします。また、スタッフのみなさんにも一緒に楽しんでもらいます。楽しいコミュニケーションがもとめとする環境を盛り込んでまいります。

【対象年齢】 小学校1年生~高校生
 【募集人数】12名 【参加費】無料

【日時】2025年1月13日(月) 13:00~15:00
 【会場】フタバスケルセンター6階 (放課後等デイサービス)
 【住所】千葉県市川区高島1-22-23 稲毛町二丁目ビル3階B
 【指導者】河原裕美 岡田直子 鈴木美和子 宇野敦子

主催(問い合わせ・申し込み先): 特定非営利活動法人子ども劇場千葉センター
 〒260-0031 千葉県市川区千歳2-17-6 エアックビル102号 4F FAX: 043-301-7262
 TEL: 043-301-7262 FAX: 043-301-7263 E-mail: kids@chiba.sekihou.or.jp
 URL: https://chiba.sekihou.or.jp/

後援: 千葉県 千葉市 千葉県教育委員会 千葉県医師会 千葉県小児科医会

1. 国立病院機構 下志津病院「楽しい工作 つくってみよう！」

日時：2024年7月23日（火）12:30～14:30

場所：療育訓練室

参加者 14人

（子ども10人 病院関係者4人）

指導者：加川きみこ 塩沢千秋 北野美子 椎名好子

ワークショップの内容

レインボーシャボン玉

ブレスレット

折り紙花火

レインボーシャボン玉は、指導者からプリズムテープの貼り方説明をしっかり聞いて、積極的に質問もして作った。出来上がり、竹ひごを両手ですり合わせて回すと、ふわ～っ、ふわ～っとなって広がって、「わー、きれい。本当にシャボン玉のよう」と喜んでいて、ヘアゴムの色を選び編みながらブレスレットを作り、皆で和気あいあいと話をしながら、楽しそうだった。早速、腕に付けて「かわいい」「カラフルなおおむしみたい」と愛着をもったようだ。折り紙花火を丁寧に工作した子、自分なりの模様を作りたいと、レース模様のような細かい作業をやった子等、創意工夫がいっぱい。



子どもの声

- ・とてもたのしかった・1しゅうかんあったらいいのになとおもった。
- ・工作は好きだけど、やる機会があんまりないから、工作ができて楽しかった。
- ・ほかの子と仲よくなったのがうれしかった。
- ・何かを作ることとはとても楽しいことだなと思った。また、このような体験があったらぜひ、やってみたい。いろいろなことができ、楽しかった。

施設関係者の声

- ・子ども達の好きそうな興味をそそる内容の設定で、方法、材料も扱いやすく自身で完成できそうな物ばかりだった。
- ・「家でもやってみたい」との声も多数聞かれ、意欲や満足感を得られていた。
- ・幅のある工作内容で子ども達がとても楽しむ事が出来たと感じた。
- ・職員も子ども達の嬉しそうな顔をみられて、嬉しく、とても楽しい時間だった。

2. 国立病院機構 千葉東病院「夏のクラフトタイム♪遊ぼう!作ろう」

日時：2024年7月30日（火）14:00～16:00

場所：3病棟プレイルーム

参加者 12人

（子ども7人 病院関係者4人 ボランティア1）

指導者：和田直子 岡田直子 大山菜穂子 鈴木美和子

ワークショップの内容

難易度のちがう3種の工作

・くるくるレインボー(ダブル)

・ビーズのストラップ

・エコクラフト

緊張気味だった子たちも少しずつ打ち解けて工作を楽しんでいた。子ども同士の会話も次第に増えていって雰囲気は和んでいった。「難しそう、できなさそう」と言っていた子が指導者やまわりの子の声かけにより小物入れ作りに参加できた。完成した時は嬉しそうな笑顔になった。ビーズストラップの配色や並べ替えに満足そうな顔の子が「かわいくできた!」と喜んでいて、いったん病室に戻った子が、できあがった小物入れに自作の編みぐるみ人形を入れて見せに来てくれた。くるくるレインボーを真剣に作ったあと、完成した作品で楽しそうに遊んでいる子どもの姿もあった。



子どもの声

- ・初めてつくる物ばかりで楽しかった。
- ・楽しく、おもしろくて、できてとてもうれしかった。このように作るんだとか、こうすればこうなるんだとか色々思えて、とてもいい思い出になってうれしかったです!しっかりと、きれいにできるようにおしえてくれて、わかりやすかったです!!

施設関係者の声

- ・比較的年齢の大きい児童が参加したこともあり、それぞれの活動に意欲的に取り組む様子が見られた。入院間もない児童もいたので、コミュニケーションをはかる良い機会にもなった。自分の手を使って作品を完成させたことで、達成感や満足感が得られた。
- ・変化の少ない入院生活にワクワク体験の機会をいただくことは貴重です。

3. 放課後等デイサービスわくわく bloom 「やってみよう♪わくわく工作タイム」

日時：2024年8月1日（木）13:00～15:00

場所：活動室

参加者 25人

（子ども19人 施設関係者6人）

指導者：和田直子 河原裕美 篠藤晶子 鈴木美和子

ワークショップの内容

エコクラフトの小物入れ、
ビーズストラップ
ペーパークラフト

3種類の中からまず好きな工作をし、そのあとは他の工作を選び、好きな工作を深めることにした。小物入れは難しかったようで、くじけそうになりながらも、指導者の声掛け・励ましにより全員完成することができた。普段から、施設職員と子どもたちの仲の良さが伝わり、初めて会った指導者たちにも気さくに話しかけてくれる子が多かった。用意したビーズがなくなったため、施設にあるビーズも出してもらったところ、複数個作り、お互いに見せ合う様子が楽しそうだった。子どもに人気のキャラクターを型抜きするペーパークラフトも好評で、オリジナルの絵を描いて作品を作る子もいた。



子どもの声

- ・かごのやつを作るとむずかしいのもかんたんにできてうれしかった。ビーズを作るときぶんがよくなった。ペーパークラフトをするのたのしかった。ワークショップをするとげんきがよかった。
- ・ビーズは、けっこうたいへんだっただけど100%できた。
- ・つくるのはつかれたけどかわいいものやきれいなものができてたのしかった。
- ・えがとてもきれいにかけたのしかった。

施設関係者の声

- ・クラフトテープのカゴは最初が難しく「もうできない」とこぼしていたが、最後まで根気強く仕上げることができ「自分にもできた！」という達成感を得ることができた。やさしくほめながらの声掛けで、子どもも嬉しそう。
- ・自ら作りたい物を選択、どうやったら上手く作れるか、工夫し試行錯誤しながら作っている様子が見られた。また、手指の巧緻性や目と手の協調性なども鍛えることができ、日常生活の中でも活かしていけることができると感じた。

4. 千葉県千葉リハビリテーションセンター 「たのしくインテットとわくわくサマーコンサート」

日時：2024年8月21日（水）10:30～14:10

場所：大ホール

参加者 79人

（子ども42人 保護者7人 施設関係者27人 ボランティア3人）

指導者：石井真理子 鈴木佳子 椎名好子 宇野京子

ワークショップの内容

ピアノ、トロンボーン、ウクレレ、フルート、ボイスパーカッションの演奏と手作り楽器で、アイネクライル、情熱大陸、「ディズニーメドレー」YOASOBIの曲 南の島のカメハメハ マツケンサンバ他

演奏が始まると最初から手作り楽器を鳴らして楽しそう。体をゆすってリズムを感じている子もいた。楽器の紹介トロンボーンが「ぶおーん！！」とならすと、女の子が「おならみたい！！」、みんな大笑い。車椅子の子がリズムに合わせて足をぶらぶらさせていた。みんな耳を傾けて熱心に聞いていた。病院のスタッフも一緒にリズムに乗って子どもたちの反応を促していた。手をたたいて喜びを全身で表現する子、表現するのがむずかしい子も目で演奏者を追い、好きな曲が始まると目がキラキラするのがわかった。YOASOBIの曲、みんなの表情が変わってノリノリに、一緒に声を出して歌った。「アンコール！」と元気な声。会場の子どもたちやスタッフが一体感に包まれた。



子どもの声

- ・やれてよかった たのしかった おねえさんたちのいしょうがよかった かわいかった じぶんもきたい。
 - ・マツケンサンバがたのしかった またきてほしい
 - ・ピアノがよかった またきてほしい
- 保護者の声**・いろいろな曲がきけて楽しかった。衣装が替わったり 楽器紹介など工夫も多かった あきずに楽しめた。楽しい時間をありがとう。

施設関係者の声

- ・テンポが良い曲が多く、心が元気になった。こども達もいろいろな音をきいて目を丸くして反応したり、いつもとはちがう表情をみることもできた。ステキな時間をありがとうございました。
- ・色々な楽器を聴けてみんなの方をぐるっとまわってくれて、子どもたちのちがった表情をみることでよかった。

5. 放課後等デイサービス グリーンヒルキッズ 「色紙ねんどで作ってみよう 世界でひとつだけの…」

日時：2024年8月23日（金）13:00～15:00

場所：ゆりのき台教室

参加者 27人

（子ども18人 施設関係者9人）

指導者：ヨシミツ 鈴木佳子 柳田裕子 渡辺美佐緒

ワークショップの内容

紙ねんどを使った工作。4色の粘土を混ぜてお気に入りのカラーにし、ペットボトルやカップを土台に自由に作りたい物を作成。みんなで発表



ホワイト、イエロー、マゼンダ、ブルーの紙ねんどを配り、指導者から色のピンクやグリーン、イエロー、マゼンダ、ブルーを同量で混ぜると黒になるなど色作りのレクチャーをしてもらった。ペットボトルやゼリーのカップを使い作品を作成。ペン立てから懐中電灯になったり、小物入れになったり自由に作品作りをした。きれいな発色だったので色鮮やかなカラフル作品となりました。最後には頑張ったところや気に入っているところを発表。それぞれ個性のある作品を嬉しそうに発表し、最後は、ねんどの保管方法も教えてもらった。



子どもの声

犬がうまいくいった。おはながきれいにできてうれしかった。動物を作ることが楽しかった、またやりたいです。こものいれを作り、楽しかった。あかい色をやるのに、ちょっと難しかったけどやれてよかった。とてもたのしかったからもっとやりたかった。おいしそうなサンデーができた。

施設関係者の声

・工作や造形活動が苦手な児童も粘土の混色を楽しめていた。スタッフの助言で創造が膨らみ何を作ろうか迷っていた児童も作品をイメージすることができた。仲間の作品を見て素直に賞賛できる様子が見られた。
・何色と何色を混ぜたらいいと考えるのが楽しそうだった。自分の好きな色を使い、作りたいものを自主的に工作する姿があった。子どもたちが自由に発想し思いのまま創造していた。自分で独特な色作りからはじまり、デザイン創作といちから自分で主体的に創造している姿にとても感動をおぼえた。子どもたちが思った以上に熱心に取り組んでいた。



6. (社福)大成会放課後等デイサービス本城ルーム 「第1部ねえ、聴いて！夏のおはなし 第2部 作って遊ぼうキラキラ工作」

日時：2024年8月27日（火）1:30～1:30

場所：活動ルーム

参加者 17人

（子ども13人 施設関係者4人）

指導者：飯野真子 広瀬節子 松本祐子 清水裕美子

ワークショップの内容

第1部・大型絵本「へんしんトンネル」・エプロンシアター「おむすびころりん」・仕掛け絵本「ほしい」 第2部・牛乳パックのプロペラこま・紙コップのけん玉・キラキラサマードーム

本が出た途端「知ってるー！」と楽しげな声。「ねずみが怖いのは何だ？」と問うと「欲張り爺さんの猫ー！」。大型絵本も興味津々、みんなで言葉遊びを楽しみ、「やっぱりー」「なあーっ」顔を見合わせて笑い声。工作の材料は好きなものを選んでいいことで意欲的に取り組んだ。進化させたり飾ったり…、サマードームを大事そうにずっと見つめて動かしている子。サマードームの色を季節に合わせて色の濃さで工夫し、入れる飾りを真剣に選んだ。プロペラごまをどうしたら上手く沢山早く回るか研究する子や紙コップけん玉にキラキラの飾りをつけて喜んでいる子など、一人一人が遊びに熱中してあっという間の2時間だ。



子どもの声

・楽しかった、またやりたい。
・ボトルに入れてキラキラにするのが楽しかった。いろんなものをたのしくえがおでつくれてよかった。
・何時間でもできるくらいたのしかった！

施設関係者の声

・普段では「ダメ」と言ってしまう事も、子どもに任せて大丈夫と色々できる事を教えてもらい、子どもの主体性について改めて考えた。
・いつもなら、あまり興味を示さなそうな子が、とても嬉しそうに参加して、新しい発見だった。道具の使い方等もよく使っていて驚いた。
・細かい材料をつかむ、手に取る。どのくらいの量を入れる？考え、想像力も養えた。1つ作って自信を持ち、もっと作ってみたいという気持ちが尊重され、達成感を得た。
・子どもがやりたい意欲に繋がるように励まし、楽しい遊びが見つかるように1人1人に声掛けをしてくれた。そのお陰で率先して様々な工作に参加し、楽しんでいる姿が見られた。



7. 千葉大学医学部附属病院「チャレンジ カラフルクラフト」

日時：2023年11月6日（水）11:00～14:30

場所：クリーンルーム&プレイルーム

参加者 24人

（子ども13人 施設関係者11人）

指導者：大塚るい 岡田直子 河原裕美 篠藤晶子

ワークショップの内容

エコクラフトの小物入れ(高学年)

アルファベットのストラップ

くるくるレインボーダブル



中高生女子3人は、「高学年向けクラフト」への参加をあらかじめ決めてきたようで、迷わず好みの色を選ぶと制作にとりかかった。指導者にコツを聞きながら完成させたときは満足感にあふれる表情をしていた。次に、ビーズのストラップのアルファベットは「妹の名前を入れてプレゼントにする」と、やさしいお姉さんの表情をした。工作しながら、長期にわたる病院生活ぶり、得意とすることや家族のことを語る小学男子は工作あそびに満足そうだった。

子どもの声

・とてもたのしく、いろいろな方々と交流ができてとてもいい機会になりました！！このような機会を作ってくださいありがとうございました！！またやってほしいです。

・ボランティアの方も丁寧に教えて下さり、気分が良かった。また、参加したいです。

・前からつくってみたいものがあったので、次はちがうものをつくります。

施設関係者の声

・印象的だったのが、普段低年齢児対象の病棟内活動にはなかなか参加することがなかった中学生、高校生がイベント案内の段階から興味を持ち、イベントの最中も黙々と作業に没頭し、作品が出来上がるとやり切った満足感にあふれた表情を見せてくれ、イベント後の保育士との会話の中で「すごく気分転換できた！」と話が出てきたことが制限の多い療養生活の上でのQOL向上につながったと感じる。

・参加者の進捗状況に合わせ、指導者側でパーツを作成し提供するという判断が適宜行われたため、時間オーバーなく参加者を無理に急がされることなくじっくり遊び切ることができた点が専門性を感じる。



8. 放課後等デイサービス・ハクナマタタ「革でクリスマスオーナメントをつくろう！」

日時：2024年11月6日（水）15:00～17:00

場所：活動室

参加者 23人

（子ども12人 施設関係者11人）

指導者：斯波優江 楠千枝子 北川妙子 井澤智子

ワークショップの内容

革でクリスマスオーナメント

をつくろう(導入 絵本、

演出 サンタ帽)



施設からのクリスマスにちなんだ導入希望を受け、指導者がサンタ帽をかぶり、絵本の読み聞かせでクリスマスのイメージがわき、笑顔になった。最初は緊張感が見えたが、指導者の声かけでどんどん作品を作り、時間が足りなくなる子もいた。切るのが好きな子は、はじめ、気に入った色合いの革をひたすらハサミで切っていた。切った革を重ねて「いい！オーナメントにする」と言った。完成形がはっきりしているので作りやすそうだった。製作に没頭する子、時々休む子などペースがいろいろで指導者と相談しながら形にしていって、「かばんにつける」と言って得意げに見せてくれた子もいた。発表の場では、恥ずかしながらもみんなで作品を楽しむホッとした時間だった。

子どもの声

・またやりたい。もっとやりたい。・サボサンが作れてよかった。

・つりー、うさぎつくりました。

・メリークリスマス。たのしかった。さいこうです。またきてください。

・トナカイつくりました。楽しかった。

施設関係者の声

・指導者が地域のNPO団体だったので子どもたちの創造力を一緒に面白がってカタチにしていくことを楽しむ姿勢、子どもを褒めてくれるタイミングもよく、子どもたちが地域とつながる良いきっかけになった。

・クリスマスというなじみ深いテーマで、子供たちは自由な発想で工作に集中できた。

・絵本がとても面白かった、読み方もチョイスもさすが、一気にクリスマス気分になれて制作に入りやすかった。

・子どもの「こうしたい」を一緒に考えてくれて、達成感を味わえる素敵な対応だった。



9. 国立国際医療研究センター国府台病院「わくわく工作!オンリーワンを作ろう!」

日時：2024年11月20日（水）10:10～12:10
 場所：院内学級の教室・室内運動場
 参加者 40人
 （子ども28 施設関係者9人 ボランティア3人）
 指導者：濱美幸 波多陽子 加藤香都代 井澤智子

ワークショップの内容
 キラキラビー玉の万華鏡
 革細工
 アイロンビーズ

できあがった万華鏡を覗いて色合いから『森』や、『川』と見え方を楽しみ、暗くしたり、明るくしたり、色々試して見合ったりした。アイロンビーズは迷わず自分が作りたいものを作り始め、特に男子2人は自分の考えた大作をあきらめず最後まで細かい作業に取り組んだ。時間がなくてもやり直して納得のいくものにこだわる子どももやりきった。革工作は、薄い革紐を切って作るのを苦労し、友達の工夫をみて「これしよう」と刺激しあい作っていた。遅れて今日、初めて教室に来た子が、初め表情が硬かったが、万華鏡を作っているうちに柔らかく変わった、完成して嬉しそうだった。



子どもの声

- ・譲り合いや友達とのコミュニケーションがたくさんできていい体験になった。自分で考えて作るのが得意ではなかったのが万華鏡やアイロンビーズが一番楽しかった。皮づくりも自分で考えて作ることができていい経験になった。
- ・たくさんの革を自由に切って触って自分の作品を作れるのがとても楽しかった。触り心地も違い素敵な革だったので貴重な体験ができた。
- ・アイロンビーズがたのしかった。家に帰ったらやりたい

施設関係者の声

- ・万華鏡、思っていたより子ども達は早く仕上げる事ができたので、側面を飾る時間ができた。
- ・アイロンビーズ、すごい集中力で大作が出来て満足していた。男の子、女の子どちらにも人気だった。
- ・アイロンをかける前に落としてしまい、時間もなくてやり直すこともできなかった。これも人生。

10. 放課後等デイサービスアフタースクールセンターむぎ畑 「やってみよう!わくわく工作タイム」

日時：2025年1月13日（月祝）13:00～15:00
 場所：活動ルーム
 参加者 15人
 （子ども10人 施設関係者5人）
 指導者：河原裕美 岡田直子 鈴木美和子 宇野京子

ワークショップの内容
 エコクラフトの小物入れ
 ペーパークラフト
 アルファベットビーズのストラップ

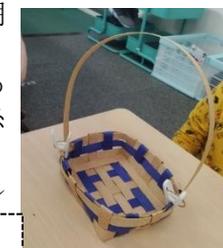
はじめに皆で小物入れ作り、部分的に苦戦していたが、みんな根気強く取り組み完成した時はうれしそうだった。「押し」の歌手の話しながらその名前のアルファベットを探してストラップを作り、高校生女子の表情がとても明るく楽しそうだった。手を動かしながら、きょうだいの話になり（妹がうざい、兄はツライなど）子ども同士でコミュニケーションを取り合っている姿が微笑ましかった。ペーパークラフトでピクミンを作った子が、黙々と糸を巻いていた。自分でこうしたいとこだわって作り上げた子が多かった。エコクラフトもビーズのストラップも完成した時にとてもうれしそうにしていたのが印象的だった。

子どもの声

- ・毎年来てくださりありがとうございます。ボクは工作が好きなのでワークショップに参加できてよかった。
- ・かごがつかえそう。今回もものすごく楽しかった。ありがとうございました。
- ・きれいなキーホルダーがつくれてよかったです。楽しかった（つかれた）。またやりたい。

施設関係者の声

- ・工作を通じて子供同士でコミュニケーションをとれ、初対面の大人とコミュニケーションをとる機会を得られたことに QOL の向上が感じられ、自分で創意工夫をこらすことに達成感を得ることができたと感じる。
- ・普段は手芸等には興味を持たない児もおしゃべりを楽しみながら作り上げることができ、「やればできるんだ」と感じる事ができたと思う。
- ・「こんな風にしたら?」「こんな感じ」など一人一人に寄り合い、しっかり、ゆっくり指導して下さった。



今年度の取り組み経過概要

- ① 入院病棟では、コロナが5類になっても外からの入室制限が未だに厳しいところもあり、予定していた中の3病院では実施できなかった。実施できた病院でも外部からの人数の入室制限のあるところもあった。子どもたちの遊びやコミュニケーションの機会も遮った状態が長く続くと、心身の発達が危惧される状況は、どの施設でも感じていた。久しぶりに実施できた病院ではとても喜んでいて。また、昨年までの経験から放課後等デイサービスに広げて声をかけ実施し10か所での開催ができた。再度訪問できた施設も増え、信頼関係も強くなった。芸術文化による交流あそびで笑顔いっぱいになりQOL向上に効果的であると評価され、次年度継続実施を希望していた。
- ② 当団体ではコロナ感染防止対策のガイドラインを作成し、今年度も事業実施7日前から健康チェックシートで、指導者・スタッフの健康チェックをして臨んだ。また、各施設のガイドラインに基づき、感染防止対策の徹底をし、安心と安全を可能な限り保証することを心がけた。

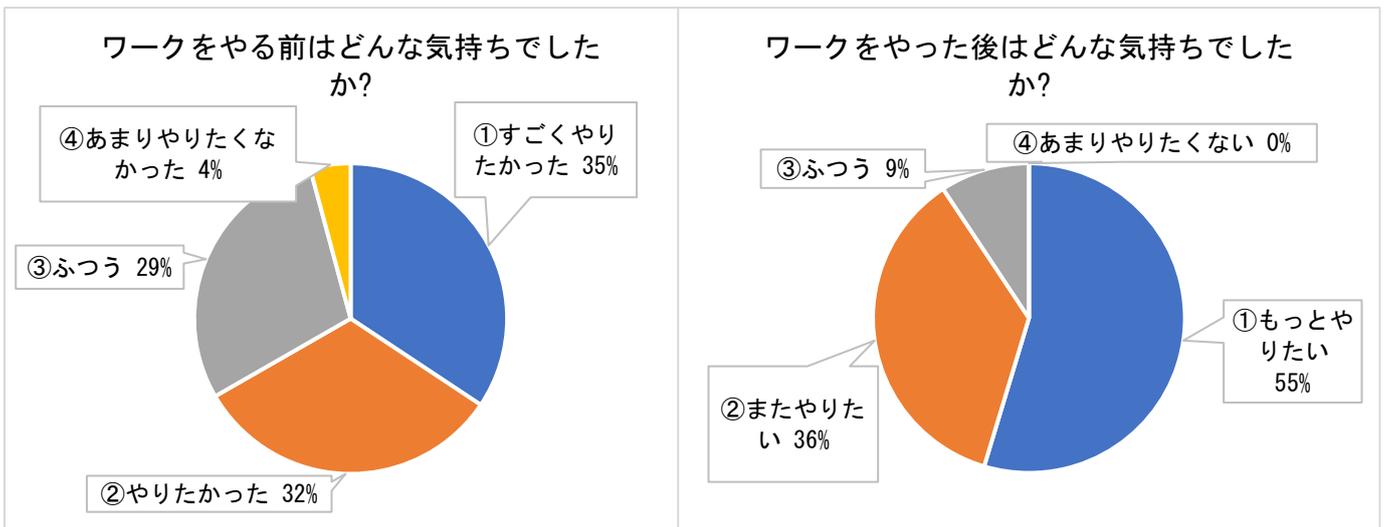
事業の成果と課題

- ① 普段の病院や施設での生活の課題とニーズを把握し地域の遊びの専門家から指導者を選び、文化的な遊びや体験ワークショップを提供した。コロナ禍で病院での実施が予定通りにはかなわず、QOLの向上や自己肯定感の向上を必要とする実施個所を拡げ、5病院5放課後等デイサービスで計10回実施し、276人(子ども172人 大人104人)が参加した。 [17年間の実施実績：12病院 35施設 延べ282回 11,291人参加]
- ② 子どもたちは、やる前から楽しみに待っている子が多く、アンケートから、たのしかった、おもしろかった、やれてよかった、うれしかった、げんきになった、と、積極的に参加した様子がわかる。子どもたちがわくわくして自由に選べる豊富な材料を用意したことで、やりたい、もっと作りたいと意欲を膨らませた。また、友達と協力し、指導者とのふれあいで安心して遊び、またやりたいとの声が多かった。
- ③ 施設職員は、普段あまり見られないような子どもたちの表情や笑顔が多く見られたことを一番に評価していた。そして、自分から主体的に活動し、満足感達成感が高くなったととらえている。個々の持つ能力、できることを発見できたという声もあった。何より、外からの訪問者との出会いは刺激があり、特別な一日となった。
- ④ 地域の遊びの専門家の指導者による、質の高いアート体験、遊びの交流の中で、子どもたちを丸ごと受け止める対応が、子どものやりたい思いを引き出し、形にし、楽しく最後までやりとげたと、施設の職員に評価された。自分の表現や工夫を褒めてもらい子どもの表情がぱっと変わり、友達へのコミュニケーションにも広がり、自己肯定感やQOL向上につながっていた。
- ⑤ この事業では施設の担当者や指導者をつなぐコーディネーターの役割が重要である。丁寧な打ち合わせで子どもたちの年齢やニーズにあわせてプログラミングを心掛け、きめ細かな準備をした。当日は協力者も参加し、子どもひとりひとりとコミュニケーションをとり、全体の安全にも配慮し施設との信頼にもつながっている。
- ⑥ 課題
どんな状況にある子どもにも様々な人と出会いコミュニケーション力を養い、文化芸術を通して遊び、体験の機会を絶やさないこの事業は、定期的な継続が必要である。「こども大綱」のこどもの遊び体験活動・ウェルビーイングの重要性を実現するために行政や地域との連携が必要だと考える。



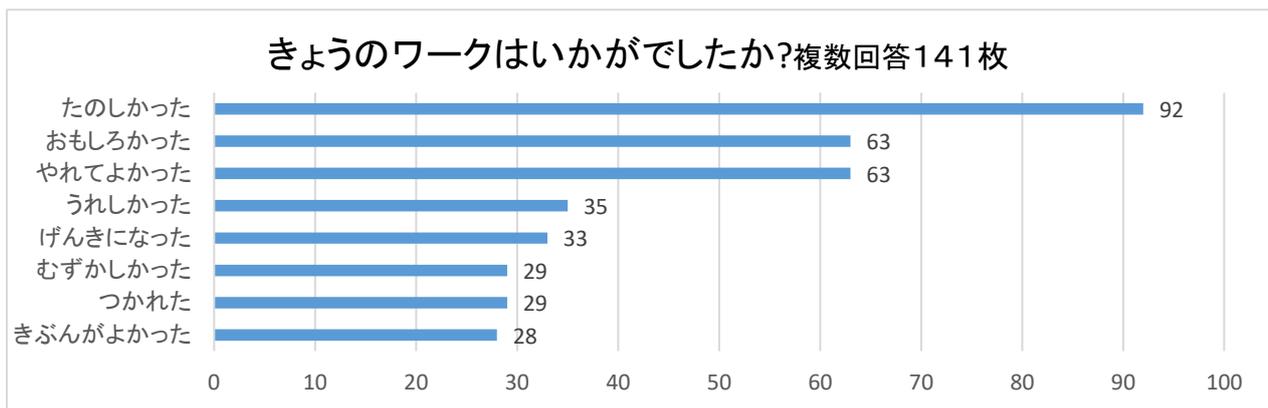
【コーディネーター】	市川淑江	宇野京子	越後久美子	大塚るい	大森智恵子	岡田泰子	恩田奈央子
	買場都明	加藤香都代	笠原直子	桑原信子	椎名好子	塩沢千秋	大山菜穂子
	清水百世	白鳥みゆき	白幡緑	鈴木佳子	高橋知子	滝口淳子	棚田純子
	中川香子	中村雪江	中村幸恵	早川良美	綿貫のばら		

◆資料1 子どものアンケートから見た子どもの気持ち (141枚、アンケート回収率 82%)



「すごくやりたかった」と「やりたかった」で67%と3分の2の子どもたちがワクワクしてワークショップを楽しみに待っていることがわかる。何をやるのかどんな人が来るのか、ドキドキしている子どもたちも多くいて、「ふつう」「やりたくない」という気持ちの子も3分の1いた。

ワークショップをやったあとは、「もっとやりたい」が55%で半分以上で、「またやりたい」と合わせると91%の子どもが「やりたい」と答えている。「ふつう」と答えている子もいるが、みんな笑顔になっていた。「やりたくない」という子は0%で、100%の子どもたちが、楽しんでいたことがわかる。



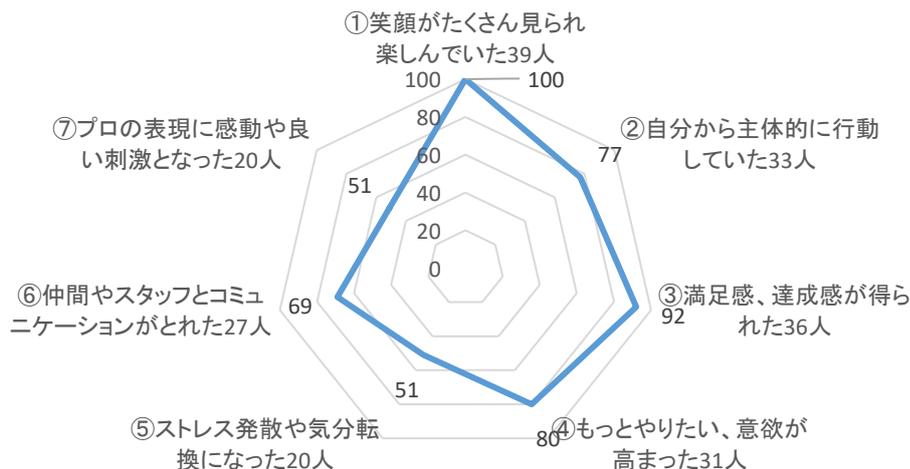
複数回答のアンケートで、「たのしかった」と92%の子どもたちが答えていて、ほぼ全員が楽しい時間を過ごしたといえる。次に「おもしろかった」「やれてよかった」が63%と高く、積極的に参加して達成感を感じている。「むずかしかった つかれた」と感じて指導者と共に最後まで取り組み、「たのしかった」「うれしかった げんきになった きぶんがよかった」とつながり、QOL向上につながったと言える。

■アンケートの自由記述から

- ・むぼうなチャレンジがむずかしい。 ・やれてよかった。
- ・自分の作りたいものを作るととても楽しく過ごせた。 ・またみんなでものづくり体験したいです。
- ・すごく楽しかった。 スタッフの方が丁寧にいろいろと教えてくれたので、とてもやりやすかった。
- ・1しゅうかんあったらいいのになとおもいました。 ・こういう体験はあまり出来ないのので、できてよかったです。何かを作ることはとてもたのしいことだなと、思いました。 ・初めてつくる物ばかりで楽しかった。 ・たのしかった いしょうがよかった じぶんもきたい マツケンサンバがたのしかった またきてほしい
- ・ボトルに入れてキラキラにするのが楽しかった。 いろんなものをたのしくえがおでつくれてよかった。 作品がとてもよくできてよかった。 ・さいこうです。 またきてください。 ・トナカイづくりました。 楽しかったです。 ・あかい色をやるのに、ちょっと難しかったけどやれてよかったです。 ・ちょきんばこをきれいなれものにできた。 ・ビーズをつくるのがたのしかったです。 はこもたいへんだったけどたのしかったです。 えがとてもきれいにかけたたのしかったです。

◆資料 2 施設関係者のアンケートから見た自己肯定感を感じたところ (回答 39 人 複数回答)

ワークを体験した子どもたちの表情は?



「笑顔がたくさん見られ楽しんでいました」と 100%の方が回答している。「満足感、達成感が得られた 92%」「もっとやりたい、意欲が高まった 80%」「自分から主体的に行動していた 77%」と続く。「仲間やスタッフとコミュニケーションがとれた 69%」と、芸術体験を通して、スタッフの声掛けや仲間との交流が主体的な行動を後押しし、満足感達成感、笑顔になることで QOL の向上や自己肯定感の向上につながっている。

■芸術やあそびの専門性のある指導者の力、ここはプロだなと感じたところがありましたか?

・「家でもやってみたい」との声も多数きかれた。自分のやりたい物を選択して完成させることで、意欲や満足感を得られていたと思う。・入院間もない児童もいましたので、コミュニケーションをはかる良い機会にもなった。自分の手を使って作品を完成させたことで達成感や満足感が得られたと思う。(保育士)・子ども達がやりたい意欲に繋がるように励ましたり、楽しい遊びが見つかるように 1人1人に声掛けをしてくれた。そのお陰で率先して様々な工作に参加し、楽しんでいる姿が見られた。子ども達から楽しかった、もっとやりたいと声が沢山上がり、意欲向上に繋がったと思う。色のイメージ、粘土の量の配分など自分で楽しみながら工夫していた。自分で考えることを主体とした活動ができた。

■この事業の成果や子どもの自己肯定感や QOL 向上につながったと感じられましたか?それはどのようなことでしたか?

・年齢に合わせたワークを提供していた。子どもたちが「やってみようかな」「これもやりたい」と思えるような声かけをしていた。子どもたちへの声かけや、子どもたちを引きつけるような動きや質問が良かった。曲に合わせた衣装替えもおもしろく、次は何か、ワクワク、ドキドキさせてくれる感じが楽しかった。・子どもの「こうしたい」を一緒に考えてくださり、達成感を味わえる素敵な対応だった。・何を作るか悩んでいる子にこういうのは?とアドバイスを提供したことでその子の表情がかわった時はすごいと思った。自由な発想を引き出し、優しく声かけをしてくれたので楽しくできたと思う。子どもたちの前でお手本の作品を作ってください「さすが!すごい!」と思った。

■実施後感じられた、本事業へのご意見、今後のご要望、改善点などをお聞かせください。

・これからも、このような活動に参加することができることを希望します。是非お願いします。職員も子ども達の嬉しそうな顔を見られて、嬉しく、とても楽しい時間でした。・閉鎖的になってしまう入院中に、楽しい一時を提供していただきました。・大人もつい夢中に参加するくらい楽しい時間でした。・私たちは小さな事業所で人間的・金銭的にもできることが限られてしまうので、今回のように皆さんのお力をお借りして子どもたちに様々な体験をしてもらえるプログラムを実施して頂けてとてもありがたい。・なにより一年に一回のこの活動が子ども達にとって刺激的で楽しい日であることは間違いありません。今後もこの御縁を続けていきますに!・普段はなかなか目が届かないことから、細かな作業が必要な工作や材料の調達や作り方が難しいもの、アイデアも尽きてきているので、このような機会は大変ありがたいです。いつも綿密な計画を立てていただき子どもたちの好奇心が高まるよい事業と感謝しています。今回も持ち帰った粘土で早速オリジナル作品を作った子どもがいました。(母から写メあり)創造性を育み興味関心を高めるすばらしい事業なので今後も是非参加させていただきたいと思います。

＜こども基本法 2023 年 4 月 1 日施行＞(一部抜粋)

こども基本法は、日本国憲法、児童の権利に関する条約（以下「こどもの権利条約 1」という。）の精神にのっとり、次代の社会を担う全てのこどもが、生涯にわたる人格形成の基礎を築き、自立した個人としてひとしく健やかに成長することができ、心身の状況、置かれている環境等にかかわらず、その権利の擁護が図られ、将来にわたって幸福な生活を送ることができる社会の実現を目指す。

＜こども大綱の策定 2023 年 12 月 22 日 閣議決定＞(一部抜粋)

全てのこども・若者が、日本国憲法、こども基本法及びこどもの権利条約*の精神にのっとり、生涯にわたる人格形成の基礎を築き、自立した個人としてひとしく健やかに成長することができ、心身の状況、置かれている環境等にかかわらず、ひとしくその権利の擁護が図られ、身体的・精神的・社会的に将来にわたって幸せな状態（ウェルビーイング）で生活を送ることができる社会。

こども大綱が目指す「こどもまんなか社会」

～全てのこども・若者が身体的・精神的・社会的に幸福な生活を送ることができる社会～

1 ライフステージを通じた重要事項として

- (1) こども・若者が権利の主体であることの社会全体での共有等
- (2) 多様な遊びや体験、活躍できる機会づくり（遊びや体験活動の推進、生活習慣の形成・定着）

1. 遊びや体験活動は、こども・若者の健やかな成長の原点である。例えば、こどもが遊びに没頭し、身体の諸感覚を使い、自らの遊びを充実、発展させていくことは、言語や数量等の感覚などの認知的スキルや、創造力や好奇心、自尊心、想像力や思いやり、やり抜く力、折り合いをつける力などの社会情動的スキルの双方を育むことに加え、多様な動きを身に付け、健康を維持することにつながり、ひいては、生涯にわたる幸せにつながる。こういった遊びや体験活動の重要性、学びへのつながりや、その機会を保障することの重要性を改めて認識した上で、国や地方公共団体、地域、学校・園、家庭、若者、民間団体、民間企業等が連携・協働して、こども・若者の全てのライフステージにおいて、年齢や発達程度に応じて、自然体験、職業体験、文化芸術体験など多様な体験・外遊びを含む様々な遊びができるよう、青少年教育施設の充実を含め、地域資源も生かした遊びや体験の機会や場を意図的・計画的に創出する。地域や成育環境によって体験活動の機会に格差が生じないように配慮する。

2 ライフステージ別の重要事項 (1) こどもの誕生前から幼児期までこどもの誕生前から幼児期までは、こどもの将来にわたるウェルビーイングの基礎を培い、人生の確かなスタートを切るための最も重要な時期であるとともに、この時期への社会的投資が次代の社会の在り方を大きく左右するため、社会全体にとっても極めて重要な時期である。また、乳幼児は多くの時間を家庭や地域の中で過ごし、幼稚園・保育所・認定こども園への就園状況も異なるなど、育ちの環境は多様である。その多様性を尊重しつつ、保護者・養育者の「子育て」を支えることだけでなく、「こどもの育ち」に係る質にも社会がしっかりと目を向け、保護者・養育者の就労・養育状況を含むこどもの置かれた環境等に十分に配慮しつつ、ひとしく、切れ目なく、ウェルビーイングの向上を図ることが重要である。乳児期におけるしっかりとした愛着形成を基礎とした情緒の安定や他者への信頼感の醸成、幼児期における他者との関わりや基本的な生きる力の獲得を通じて、一人一人のこどもが、かけがえのない個性ある存在として認められ、自己肯定感をもって成長することができるようにしなければならない。



令和6年度子どもゆめ基金
「病院や児童福祉施設の子どもが主体的に創造しワクワクする
QOL向上あそび体験交流」
報告書

発行日 : 2025年 2月 10日

発行者 : 特定非営利活動法人 子ども劇場千葉県センター

発行所 : 特定非営利活動法人 子ども劇場千葉県センター

〒260-0031 千葉市中央区新千葉 2-17-6 サンコート新千葉 102号

TEL : 043-301-7262 FAX : 043-301-7263

メールアドレス : kidchiba@lily.ocn.ne.jp

 National Institution For Youth Education
独立行政法人 国立青少年教育振興機構
「子どもゆめ基金助成活動」

体験の風を
おこそう

令和6年度子どもゆめ基金助成事業報告書